

令和5年度八千代市社会教育委員会議 会議録

- 1 開催日時 令和6年1月30日(火) 14時00分
- 2 開催場所 教育委員会庁舎2階大会議室
- 3 議事 社会教育関係団体への補助金について
- 4 その他報告事項等
 - ア 令和5年度葛南地方生涯学習振興大会について
 - イ コミュニティ・スクールについて
 - ウ 中央図書館の自動出納書庫について
 - エ 市民体育館の利用休止について
 - オ 東栄寺の伝薬師如来立像(阿弥陀如来立像)について
- 5 出席者名
出席委員(敬称略)
 - 佐山 佳子(学校教育及び社会教育の関係者)
 - 目黒 英樹(学校教育及び社会教育の関係者)
 - 鈴木 洋子(学校教育及び社会教育の関係者)
 - 吉住 柳市(学校教育及び社会教育の関係者)
 - 内田 玲香(家庭教育の向上に資する活動を行う者)
 - 片寄 朗(家庭教育の向上に資する活動を行う者)
 - 恵 芙久子(学識経験のあるもの)
 - 高橋 清英(学識経験のあるもの)
 - 佐藤 知行(市民)
 - 平川 京子(市民)

事務局

 - 春田 泰宏(教育次長)
 - 齋田 忠徳(生涯学習振興課長)
 - 米ノ井 正樹(文化・スポーツ課長)
 - 大野 光弘(生涯学習振興課主幹【図書館担当】)
 - 岡崎 智(生涯学習振興課主幹【公民館担当】)
 - 宮澤 久史(文化・スポーツ課主幹)
 - 渡邊 修宏(生涯学習振興課副主幹)
 - 内海 広澄(文化・スポーツ課副主幹)
 - 高橋 和也(生涯学習振興課主査)
 - 和泉 冴子(生涯学習振興課主任主事)
 - 内田 颯一(生涯学習振興課主事)
- 6 公開または非公開の別 公開
- 7 傍聴者 なし(定員5人)
- 8 所管課名 生涯学習振興課

【和泉主任主事】

それでは、皆様お揃いですので、これより令和5年度八千代市社会教育委員会議を開会いたします。

本日は、ご多用のところ本会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまの出席委員は10名であります。八千代市社会教育委員条例第6条第2項の規定による定員数に達しておりますので会議が成立しました。

本会議は、八千代市社会教育委員条例第6条により、本年度は社会教育関係団体への補助金についてご審議をお願いいたします。

また、本会議は「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」第4条に基づき、会議を公開し、議事録作成のため、録音いたしますので、ご了承願います。加えて、作成した議事録はホームページで公表いたしますのでご理解のほどお願いいたします。

—資料確認—

それでは、次第に則って進めさせていただきます。

はじめに、小林教育長より皆さまへごあいさつ申し上げます。小林教育長、お願いいたします。

【小林教育長】

皆様、こんにちは。教育長の小林でございます。

本年度の社会教育委員会議の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

まず、日ごろより本市の教育行政にご協力・ご支援いただきまして、ありがとうございます。

また、ご多用の中、社会教育委員をお引き受けいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行しまして、本市でも様々な社会教育事業を徐々に再開されているところでございます。このコロナ禍で我々も様々な経験をしてまいりました。この経験を踏まえまして、社会の様々な変化に対応すべく、持続可能な社会教育の充実を図っていきたくと考えております。そのためにも、地域あるいは関係機関等と連携・協力していくことが重要であると考えております。

また、社会の複雑化に伴いまして、学習ニーズ等が高度化あるいは多様化している中で、それぞれの持つ資質や能力を伸張することができるよう、市が行う事業や講座も工夫を凝らした施策を講じることが益々必要ではないかと考えております。とりわけ人生100年という時代に入っている中で、生涯を通じて生きがいを持って暮らすための学習ニーズに添えていくとともに、多様な学び直しの機会を提供し、更なる社会教育活動の展開を図っていきたくと考えております。

結びに、本日の会議おきまして、皆様の豊富な知見や経験等から、忌憚のないご意見・ご助言をいただければ幸いです。簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。本日はよろしくをお願いいたします。

【和泉主任主事】

続きまして、社会教育委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

委員の皆さまに配付いたしました委員名簿の順にご紹介いたします。お配りした委員名簿の順にお名前をお呼びいたしますので、恐れ入りますがご起立いただき、一言ご挨拶をお願いいたします。

学校教育関係者から、八千代台東小学校長、佐山佳子委員。

【佐山委員】

こんにちは、初めまして。八千代台東小学校の佐山と申します。よろしくをお願いいたし

ます。

生涯学習の一旦を、社会教育、家庭教育とともに担う学校教育のところで、普段は身を置いて、子供たちの成長を見守っている立場です。学ぶということが、生涯切れ目なく続く一助となれるように、頑張りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。

【和泉主任主事】

同じく、学校教育関係者から、勝田台南小学校長、目黒英樹委員。

【目黒委員】

教育長先生の方からもお話ありましたが、5月から第5類に下げて、学校の教育活動もだいぶ再開されていますが、ここ最近コロナやインフルエンザが非常に増えていまして、ちよっと脅かされていますが、何とかやらせていただいております。

社会教育委員ということで、私もわからないことがたくさんありますので、どうかよろしく願いしたいと思います。

【和泉主任主事】

社会教育関係者から、八千代市公民館サークル協議会・会長、鈴木洋子委員。

【鈴木委員】

こんにちは。私、公民館サークル協議会の会長をやらせていただいております鈴木洋子と申します。

また、公民館活動は、かなり長く活動させていただいております。

社会教育委員の名簿の中に自分が今年入りましたこと、とても緊張しておりますけれども、勉強をさせていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

【和泉主任主事】

同じく、社会教育関係者から、八千代市スポーツ推進委員協議会・副会長、吉住柳市委員。

【吉住委員】

皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介いただいたのですが、かつて我々の団体名は、体育指導員というちょっと偉そうな肩書きがございまして、それが13年前にスポーツ振興法の改正に伴いまして、スポーツ推進委員ということで、スポーツを推進している者として、大体私たちがよく皆さんと接触するのは、子供たちよりもどちらかというと公民館ですとか体育館を使用した少し成年の人ですね、年齢の高い方たちとお会いして、それでこのポスターにもあるような、持続可能なスポーツ、ニュースポーツ、あるいは軽スポーツと呼ばれているものを紹介させてもらったり、そこで啓蒙活動をさせてもらったりしています。

去年初めてフロアカーリングの第1回の大会を催すことができ、それは小学校から年配の方を含めて第1回がありまして、また場合によっては、受けによっては、第2回、第3回というようなことで、オープン競技という形でまた持続をしてみたいなと思っております。今後、皆さんとお会いすることもあるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

【和泉主任主事】

家庭教育の向上に資する活動を行う者から、子どもネット八千代・副理事長、内田玲香委員。

【内田委員】

こんにちは。NPO法人子どもネット八千代から参りました副理事長の内田玲香と申します。

私たちは会員制のNPO法人になりまして、大体100世帯、200人余りの会員がいるNPO法人です。主に舞台鑑賞ですとか、子供向けのキャンプとか、あとは芸術家を呼んでワークショップとか、そういった活動を八千代市近郊の子供たちに届けて、3世代で交流して、地域で繋がっていきこうという活動を継続して続けているのですが、最近では専業主婦の減少に伴って、家族のあり方が色々変わってきているので、会員になってくれるっていう方がなかなか見つからずに、お金を払って活動に参加してくれる方はいらっしゃるのですが、なかなか入会というには繋がらず、会の存続も含めてあり方を今色々との会の中でも検討しているところなので、市の政策状況とか、また子供家庭庁ができて、その中で八千代市の子育てがどういう風に変わっていくのかなということ、今私たちも色々勉強させていただいているところですので、色々情報を吸収して勉強してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

【和泉主任主事】

同じく、家庭教育の向上に資する活動を行う者から、日本ボーイスカウト千葉県連盟八千代地区協議会・代表、片寄朗委員。

【片寄委員】

皆さん、こんにちは。今ご紹介いただきました片寄と申します。私はボーイスカウトの代表ということで、ボーイスカウトと言って男の子だけなのかなという風に思われると思うのですが、もう30年ほど前から女の子も活動していますし、どちらかというとなりの女の子の方が活発的に活動している感じなのですが、世の中では男の子の子と言いかたをするのが適切じゃないというところで、非常に難しいのですが、やはり先ほど会議が始まる前に、教育の話をしていただきましたけれども、やはり3つの教育が上手くバランスが取れないと、子供たちはよく成長しないだろうなという風に思っています。

やはり我々も最近は学び直しと言いますか、リカレントですね、私思うのが、人というのは最後まで大人になっても何か学び続けることが大きいじゃないかなという風に思っています。今になって1番思うのは、もっと学生の時、勉強していれば良かったということなのですが、今必要なことをやはりしっかり勉強していくということも大事だと思いますし、そういう意味でいきますと、この委員会の役割が非常に大きいと思いますので、どうか皆さんよろしくお願いたします。ありがとうございます。

【和泉主任主事】

学識経験のある者から、らいてうの会代表、恵芙久子委員。

【恵委員】

こんにちは。らいてうの会と申します。お分かりにならないと思うのですが、八千代台南にあります東南公共センターの4階に男女共同参画センターというのがございまして、そこを学習活動の場とさせていただいて、支援していただいている活動なのですが、NPO法人平塚らいてうの会というのが全国組織でありまして、私たちは、女性史、あらゆる分野の道筋を開いてきた先輩の女性たちの学習をしているものなのですが、平塚らいてうさんのらいてうから名前を頂いて、らいてうの会と申しています。

今日では、それこそ社会的に作られた性差、ジェンダー、先程ボーイスカウトの会長さんからもありましたが、そういう話も元国立歴史民俗博物館の方から、博物館における性差の視点から展示を考えるなどという学習もしたり、男女共同参画センターと連携協力させていただいて、こういう道を開いてきた方がいるということ、私たちの心を動かし

た5人の女性」というタイトルで、ホームページで発信させていただいたり、小さい活動なのですが、センターの方たちと一緒にやらせていただいたりしています。今回はどうぞよろしく願いいたします。

【和泉主任主事】

同じく、学識経験のある者から、秀明大学 学校教師学部 教授、高橋清英委員。

【高橋委員】

秀明大学の高橋と申します。どうぞよろしく願いします。

本題とは話がそれてしまいますが、本学、全寮制の学校でございまして、日頃から学生が八千代の市民の皆様と、それから特に教育委員会の皆様に大変お世話になっておりまして、この場を借りて、まずお礼を申し上げさせていただきます。ありがとうございます。

本学、4つの学部ございますけれども、1番大きなものが学校教師学部という学部でございまして、全国から教員になりたいという学生が集まっており。県内の学生が最近ちょっと増えているのですが、大体20%から25%ぐらいとなっております。

おかげさまで、本学に来るといふ志望動機で、教員採用試験を受けるということを一層大切にしておりますので、いわゆる教育学部なのですが、学校教師学部という風に名乗らせていただいているのですが、おかげさまで今年はおそらく全国で1位の正規採用、小中高の正規の教員の採用が、大まかにはなっていますが、75%を超えていると思います。おそらく大分大学を抜いて、今年是全国で1位になったかなという風に思います。正規採用にならなかった学生もほとんど講師という形で八千代市を始めまして、小中、そして千葉県の高校の常勤の講師という形で職に就いていきますので、4月以降4年生ですけど、ほぼほぼ100%とは申し上げませんが、全員が4月1日から教壇に立つという進路になっております。

本当に地域の皆さんと八千代市の教育委員会の皆さんのご尽力で、運営ができています。本当にありがとうございます。

私自身は、社会科の教員の養成を担当しておりますが、社会、全ての教科はあるのですが、特に担当としては公民経と言って、政治分野、経済分野を担当させてもらっております。社会教育委員ということで、社会教育という視点を、私自身の授業の中にも取り入れて、この場で研鑽させていただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

【和泉主任主事】

続いて、市民委員の、佐藤知行委員。

【佐藤委員】

はい。皆さんこんにちは。佐藤と申します。本日はお世話になります。

公立高校を定年退職しまして8年目になりました。先ほど教育長さんがおっしゃっていた通り、「学びつづけること」は、私たちの生涯において、とても重要なことだろうと思います。私も、「知らなかったことは、積極的に知る」、「新しいことには何にでも果敢に挑戦してみる」といった姿勢を大切に、日々過ごしていきたいと思っております。

最近、教育界では、「教員のなり手不足」の問題がクローズアップされています。私は、今年度は、全日制と定時制の2つの高校に非常勤講師として勤務しておりますが、こうした状況の時だからこそ、真価を発揮し、恩返しする、よい機会だと捉え、正直、多少くたびれてきたところではありますが、「生徒ファースト」で指導・支援を続けております。

また、不定期ですが、数年前から福島県知事の委嘱を受け、復興支援員の活動を併せて行っております。先日、原発事故のその後を視察する機会を得ました。あれから早や12年が経ちましたが、災害の恐ろしさを風化させないためにも、みんなで関心を持ち続け、

決して忘れないことが、最大の復興支援へとつながっていることを改めて感じ入った次第です。

市民委員として、できることは限られますが、本市社会教育の発展に精一杯貢献していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【和泉主任主事】

同じく、市民委員の、平川京子委員。

【平川委員】

こんにちは。一般市民として参加いたします平川京子と申します。よろしくお願いいたします。私の方は今までまだあまり深く社会教育ということについて、考えたことがなかったのですけれども、せっかくの機会ですので、この場を通して社会教育というものについて少しでも意識を高めていき、この場で勉強させていただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【和泉主任主事】

委員のご紹介は以上となります。

なお、教育長は他の公務の都合上、ここで退席させていただきます。

つづきまして、事務局紹介に移らせていただきます。

【春田次長】

教育次長の春田でございます。本日はお忙しいところ、誠にありがとうございます。私から、事務局の紹介をさせていただきます。

生涯学習振興課長 齋田でございます。

文化・スポーツ課長 米ノ井でございます。

生涯学習振興課主幹 大野でございます。

生涯学習振興課主幹 岡崎でございます。

文化・スポーツ課主幹 宮澤でございます。

文化・スポーツ課副主幹 内海でございます。

生涯学習振興課副主幹 渡邊でございます。

生涯学習振興課主査 高橋でございます。

生涯学習振興課主任主事 和泉でございます。

生涯学習振興課主事 内田でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

【和泉主任主事】

事務局の紹介は以上となります。

以後、委員長に議長を務めていただき、議事の進行をお願いいたします。

【片寄委員長】

それでは、皆様のご協力を賜りながら会議を進行してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最初に、社会教育団体への補助金について、事務局よりご説明をお願いします。

【和泉主任主事】

資料1をご覧ください。社会教育法第13条の規定により、社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、社会教育委員の会議においてご意見を伺うことになっております。八千代市においては、本市における社会教育の振興を図るために、社会教育法第10条に規定する社会教育関係団体が社会教育の振興を図るための事業を遂行するに

当たって要する費用に対し、「八千代市社会教育関係団体事業補助金交付要綱」に則って、補助金を交付しております。

令和6年度において、交付対象団体として予定しております社会教育関係団体5団体について、資料番号順に、1団体毎に担当課より説明させていただき、その後質疑応答という形で進めさせていただきます。それでは資料1の3ページ、「八千代市子ども会育成連絡協議会」についてご説明させていただきます。

【齋田課長】

八千代市子ども会育成連絡協議会につきましては、まず単位子ども会並びに、育成会及び、それを連合するブロック、指導委員会、八千代リーダースクラブで組織をしており、子ども会活動の普及等のために行う事業について、補助金を交付しております。

令和4年度収支決算額につきましては、支出決算額119万907円のうち、補助対象経費決算額8万5,184円で、補助金決算額35万円となりました。

令和5年度の活動内容といたしましては、集団指導者の養成、ジュニアリーダーの養成、市、教育委員会や他団体の主催する行事への参加及び協力、ブロック・支部活動の支援等となっております。これらの事業に対しまして、令和5年度は補助金額35万円を交付しております。

補助金による効果といたしましては、子どもたちが社会の一員として、心豊かに成長するために、体験活動の機会を提供するなど、社会教育の振興に寄与しております。

補助金継続の必要性につきましては、集団指導者・ジュニアリーダーの養成、講演会、研究会、発表会などにより各単位子ども会を支援しており、青少年の健全育成を推進するために必要不可欠な団体として、継続して支援する必要があると考えております。

令和6年度の補助予定額は、令和5年度と同額の35万円を予定しております。説明につきましては、以上でございます。ご審査のほどよろしくお願いいたします。

【片寄委員長】

ありがとうございました。ただいまの事務局からのご説明につきまして、皆様からご意見ご質問はございますか。

【鈴木委員】

私、初めてこの数字を見るのですけれども、こちらの補助金の限度額35万円というのは、前年と同じ金額になるのですか。

【齋田課長】

その通りでございます。

【鈴木委員】

これは、こういった形で35万円という数字が出るのでしょうか。

【齋田課長】

これは、八千代市の補助金要綱がありまして、その中で限度額を決定させていただいております。

【鈴木委員】

人数とか、会員数とかは関係なく、活動の内容でしょうか。

【齋田課長】

その通りでございます。

【鈴木委員】

会員数とか、八千代市の子ども会の団体の数は、地域的にばらついておりますか。あるところとないところという。

【齋田課長】

はい、やっぱり地域的に、あるところないところについては分かれていると思います。

【鈴木委員】

子供たちの活動を、育成活動を推進していくために、広げていくようなことはできるでしょうか、今後。というのは、私のところの街に、子供会が逆になくなってしまっているものですから。というのは、私も過去に子供会の役員として携わっていた時期がございます、やはりとてもあれを見た時に、会員数もちろん減っているのですが、これは学校の教育にも影響がある、それと、私が子供会をやっている頃、子供さんがたくさんいたということと、それから逆にどんどん減ってくる状況は、子供さんたちが上級生になると、やはりスポーツの方に、子供会の行事が、土曜とか日曜日に例えば設定すると、段々上級生になるとスポーツの、野球とかサッカーとかの行事に参加すると子供の参加率がどんどん減ってくるところで、私たちの街は子供会が消滅してしまったのですね。今とても残念に思うのは、街の中で小さなお子様もどんどん増えて欲しい状況ですけれども、その子供たちがまた、そういう集まる場所ができるといいなと、やはり補助金のこの充て方はどういう感じで充てられているのかなと思ひまして、質問させていただきました。なので、どのくらいの地域に子供会が存続しているのか、知りたかったものですから。

【片寄委員長】

ありがとうございました。今のご意見というか、お聞きいただいて、やはり子供が、少なくなっていると同時に、支援する作り手の課題でもあるのかなと思っております、そういった意味で、今この提案をいただいているこの事業を続けていただくこと、とても大切だと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

よろしいですか。じゃあ、齋田課長、よろしくをお願いします。

【齋田課長】

はい。

【片寄委員長】

他に何かご意見ございますでしょうか。

—意見等なし—

よろしければ、次にまいりたいと思います。

続きまして5ページのNo. 2「八千代市スポーツ協会」について、事務局よりご説明をお願いします。

【米ノ井課長】

八千代市スポーツ協会の補助事業についてご説明いたします。資料1の5ページをご覧ください。

八千代市スポーツ協会は、八千代市における体育とスポーツ団体を統括し、これらの団体を代表する組織であり、スポーツの発展と市民体育の振興に努め、市民の健康維持増進と体力の向上を図り、健康で明るい八千代市民の育成に寄与することを目的としている団体で、31団体が加盟し、登録会員数は1万2,045人となっております。

令和5年度の補助対象事業としましては、各競技種目別市民体育大会の開催、千葉県民

体育大会への選手派遣等事業、スポーツ指導員の養成、各種スポーツ教室及び大会の開催を対象としており、今後提出される実績報告書により補助金額を確定します。なお、補助対象経費に対する補助率は100分の100、補助額は610万2,000円となっております。

令和4年度につきましては、補助対象経費予算額606万3,644円に対し、補助対象経費決算額は592万9,581円であり、補助対象経費に対する補助率は100分の100であることから、592万9,581円を交付しました。

本補助事業は、本市のスポーツ推進を図るうえで、スポーツ活動の普及と競技レベルの向上に必要な事業であることから、今後も継続すべきと考えております。説明は以上となります。

【片寄委員長】

ありがとうございました。今、ご説明のありました内容につきまして、皆様からご質問ご意見ありますでしょうか。

—意見等なし—

特にご意見なければ、次に進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願ひいたします。

【片寄委員長】

それでは、続きまして、7ページのNo. 3「八千代市レクリエーション協会」について、事務局よりご説明をお願いします。

【米ノ井課長】

八千代市レクリエーション協会への補助事業についてご説明いたします。資料1の7ページをご覧ください。

八千代市レクリエーション協会は、市民の余暇生活を開発・充実するため、レクリエーションの普及・振興及び、レクリエーションに関する活動を行う団体に対する支援を行い、市民の心身の健全な発達と、明るく豊かな市民生活の形成に資することを目的とし、グラウンドゴルフ協会、インディアカ協会、レクダンス協会、パークゴルフ協会の4団体が加盟しており、会員数は346人となっております。

令和5年度は、補助対象事業である各種レクリエーション活動がほぼ計画通り実施されましたが、一部中止となっている事業もあるため、今後提出される実績報告書により補助金額を確定します。なお、補助対象経費に対する補助率は100分の50、限度額は30万円となっております。

なお、令和4年度につきましては、補助対象経費予算額60万円に対し、補助対象経費決算額は20万7,126円であり、補助率が100分の50であることから、10万3,563円を交付しました。

本補助事業は、競技スポーツとは異なり、市民の誰もが気軽に参加できるレクリエーション団体活動の普及等のために行う事業であることから、今後も事業への補助を継続すべきと考えております。

以上でございます。

【片寄委員長】

ありがとうございました。今の説明につきまして、皆様からご意見、ご質問はございませんでしょうか。

【惠委員】

すみません、今5団体が加盟しているっておっしゃったのですが、もう1回教えてください。

【米ノ井課長】

はい。4団体ですけれども、グラウンドゴルフ協会、インディアカ協会、レクダンス協会、パークゴルフ協会の4団体が加盟しております。

【惠委員】

ありがとうございました。

【片寄委員長】

他にご質問はよろしいですか。

【内田委員】

すみません。レグダンス大会中止ということ、講習会が中止ということだったのですが、これはどういう理由で中心になったのかなと思ひまして。

【米ノ井課長】

はい。新型コロナウイルス感染症の影響で中止ということでございます。

【片寄委員長】

他いかがでしょうか。

—意見等なし—

ないようですので、次に進めたいと思います。

それでは、9ページ。No. 4、「第30回コミュニティワールドカップサッカーin八千代 実行委員会」について、事務局より説明をお願いします。

【米ノ井課長】

コミュニティワールドカップサッカーin八千代実行委員会への補助事業について説明いたします。資料1の9ページをご覧ください。

コミュニティワールドカップサッカーin八千代は、海外や県内外から中学生チームが集まり、例年12月に開催されており、同委員会はこの大会の開催及び運営を行っております。

本補助金は、補助対象事業である同大会の開催に要する費用を補助対象経費としており、補助対象経費に対する補助率は100分の100、限度額は80万円となっております。

なお、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催が中止となっており、本補助金は交付していません。

この大会は、本市における青少年の健全育成と国際交流、並びに地域交流を目的に開催されており、今後も補助を継続すべきと考えております。

以上でございます。

【片寄委員長】

はい、ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明につきまして、皆様からご意見ご質問はございますでしょうか。

【鈴木委員】

はい、ごめんなさい。最終的にちょっとお話を伺ってもいいですか。

【片寄委員長】

今はよろしいですか。

【鈴木委員】

いや、戻ってしまうので。

【片寄委員長】

わかりました。はい。では他よろしいですか。

—意見等なし—

ではなければ次に進めたいと思います。11ページのNo. 5「八千代市少年少女交歓会実行委員会」について、事務局より説明をお願いします。

【齋田課長】

八千代市少年少女交歓会実行委員会に対する補助金につきましてご説明いたします。

八千代市少年少女交歓会実行委員会の組織の構成は、市内にあります「八千代市子ども会育成連絡協議会」、「ボーイスカウト」、「ガールスカウト」となっており、この実行委員会が開催する事業、「少年少女交歓会」につきまして、補助金を交付しております。

令和4年度につきましては、コロナ禍のため中止となりました。

令和5年度の活動内容となる、「第45回八千代市少年少女交歓会」は、村上緑地公園に子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウト他多くの市内小学生・家族が集まり、実施しました。

内容といたしましては、ゲーム、ジップライン、昔あそびなどの体験コーナーにより、遊びを通して、地域や世代を超えた交流が行われました。

補助金による効果につきましては、市内各地から集まった多くの少年少女が交流を深めるとともに、コミュニケーション能力を養い、グループ活動からリーダーシップやフォローシップを学ぶことにより、明るい八千代を築こうとする連帯意識と団体活動の発展に寄与しております。

補助金継続の必要性といたしましては、市内の子どもたちが一つの場所に集い、普段の生活では経験できない活動の体験を通して、次世代の八千代市を担う人材育成の場となる事業であることから、今後も継続して支援する必要があると考えております。

この事業に対しまして、令和6年度の補助予定額として10万円を予定しております。

説明につきましては、以上でございます。

【片寄委員長】

はい、ありがとうございました。今の説明につきまして、ご意見ご質問はいかがでしょうか。

—意見等なし—

【片寄委員長】

全体を通して、ご意見ということですので、鈴木委員。

【鈴木委員】

戻って、こちらの資料を初めて見せていただいているのですけども、決定額になっておりますよね、こちら。例えば戻ってしまうのですけど、子ども会のところの35万円というのは、補助対象事業費に対して35万円になっているのは、もう少しあげてもいいんじ

やないかということも、お話してもよろしいでしょうか。個人的にその辺がよくわからないのですけれども。例えば、そういう健全育成を促進するために、子供たちになんかこう、もう少し予算をつけてあげたらいいのかな。私の意見といたしましては、こう全体見ていくと、やはり子供たち、これから八千代市を担う子供たち、私は、社会、世界へ飛び立っていく子供たちのやはりところに、もう少しこう予算がつくような形にさせていただいたら嬉しいかなというのを感じたものですから、こちらの方も予算の比較を見てみますと、お話させていただきました。

【齋田課長】

やはり補助金につきましては、私どもと財政当局と、補助金について額を精査するわけですが、やはり皆様の、市民の声と議会の声を色々聞きながら、今回の委員の意見を聞きながら、意見をまとめて、財政当局と調整し対応したいと思っております。ありがとうございました。

【片寄委員長】

今後の課題ということで、引き続きよろしくお願ひいたします。なかなか私も最初に携わった時、この補助金のことをよくわかりにくかったのですが、確か本来市がやることをこちらの団体にお願ひをしてやっていたので、補助金を出しているという経緯があるって聞いていたけど。そ、そうですかね。ということです。で、前年度は、その支出した内容がもう少し細かくというご意見が委員の方からございましたので、今回はかなり詳細の支出の資料ですとか、ここで過去2年間、過去に遡ってどういう経緯があったかという資料も細かく事務局にまとめていただきましたので、なおかつ、事前に送っていただきまして、大変ありがとうございました。助かりました。

またご意見があれば、個別にでもお伝えいただければと思います。よろしくお願ひいたします。じゃあ、ご意見でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

続きましては、令和5年度葛南地方生涯学習振興大会について事務局より説明をお願いします。

【和泉主任主事】

資料2「令和5年度葛南地方生涯学習振興大会について」をご覧ください。

令和6年1月17日付けで皆様にご案内の通知を送付いたしましたが、令和6年2月9日（金）の13時20分から葛南地方生涯学習振興大会が開催されます。

本大会は、葛南教育事務所と、八千代市、船橋市、市川市、浦安市、習志野市の5市及び各市の社会教育委員の方々にも協力を得て、毎年実施されており、今回は八千代市のセントラルスポーツ生涯学習プラザが会場となります。

相談室M&M代表・共育コーチング研究会代表の川本正秀氏による「地域・家庭円満会話術」の講演のほか、市川市西部公民館と市川市教育委員会・学校地域連携推進課による「社会教育と学校教育の連携・協働」についての事例発表を行います。

私からは以上となります。

【片寄委員長】

はい、ありがとうございました。この件につきまして、皆様からご意見、ご質問ございますでしょうか。

—意見等なし—

来週ですので、皆さんご多用だと思いますけども、ぜひ出席いただけるようお願い申し上げます。

続きまして「コミュニティ・スクールについて」事務局よりご説明をお願いします。

【内田主事】

コミュニティ・スクールについて、制度の説明をいたします。資料3をご覧ください。「コミュニティ・スクール」とは、学校運営協議会制度を導入した学校のことです。「学校運営協議会」というのは、教育委員会により任命された委員が、一定の権限と責任をもって、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関で、学校と地域が連携・協働するための有効なツールとなっております。

八千代市では、令和8年度までに市内全小中義務教育学校で設置する計画で進めておりまして、昨年度に大和田小学校と高津小学校の2校に設置し、今年度中に新たに4校設置予定です。

コミュニティ・スクールの主な役割は、目標やビジョン、課題を学校と地域が共有し、共に責任と当事者意識を持ち、本気になり自分たちの学校をよりよくしていくための仕組みでありまして、主に「学校運営や必要な支援に関する協議」を行います。主要な役割を資料に4点記載しております。

1つ目が、「校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること。」です。ここでの「承認」とは、YesまたはNoの判断をするということではなく、目標を共有して、よりよい学校を地域とともにつくっていくという意思確認、英語で言うと「Let's」と捉えていただければと思います。

委員は、学校の応援団と捉えていただきまして、学校に対してどのようなことが協力可能かという意見交換をするイメージです。

2つ目は、「学校運営について、教育委員会又は校長に意見をのべることができること。」文字どおり学校の運営に関すること、特に「この学校のためにこうした方がよいだろう」という意見を教育委員会または校長先生に申し出ることができます。子供たちのために、学校のために、地域をよくしていくという建設的な意見を取り入れていくように協議をします。

3つ目は、「教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べるすることができること。」です。

個人に対して異動の要望をするのではなく、例えば、「小学生の英語教育に力を入れてほしいので、中学・高校で英語を教えることができる教員配置をお願いしたい」といった意見を述べるということになります。

4つ目の「運営状況の評価」ですが、こちらは学校評議員が行っている「学校関係者評価」と同じ内容になります。学校の現状と課題について共通理解を深めて相互の連携を促進することを目的としています。

最後にコミュニティ・スクールを導入することのメリットにつきまして、学校と地域それぞれにメリットがあり、学校を核とした学校と地域との一層のつながりによって、それぞれが当事者という立場で子どもたちのより良い環境づくりに関わることで、継続して活動を行っていく体制ができるということです。

当事者として意見を出し合うことで、学校の抱えている課題の解決につながったり、地域における世代間交流の促進や、活動に対するやりがいが高めたり、安心・安全な地域がつくられていくことなどがあります。

説明は以上となります。

【片寄委員長】

ありがとうございました。この件について皆様からご意見、ご質問はございますでしょうか。

【恵委員】

八千代市ではコミュニティ・スクールという、こういう組織はどのぐらい設置されているのですか。具体的に設置されているのですか。

【内田主事】

はい、お答えさせていただきます。現在、大和田小学校と高津小学校の2校に対して設置して、今年度から会議が開催されておまして、現在、両校とも3回会議を行ったところであります。以上です。

【片寄委員長】

よろしいでしょうか。あと、今年度は4校。

【内田主事】

はい。今年度中に新たに4校を設置する予定でして、萱田小学校と新木戸小学校、みどりが丘小学校、高津中学校の4校に設置する予定です。

【片寄委員長】

はい、ありがとうございます。
8年度までに全校やるのですよね。
よろしいでしょうか。

【惠委員】

はい。

【片寄委員長】

先ほど内田さんから説明のあった学校の応援団という、地域で学校を応援してこよという取り組みだったのですね。

もう10年以上前ですけども、これの前身の学校地域支援本部を私当時萱田中学校のPTA会長でしたけども、萱田中学校・萱田小学校・萱田南小学校で立ち上げました。その時本当にそれが地域の学校の応援団ということで、色々な人に支援していただいて、今も継続しています。とても大切な取り組みだと思うので、ぜひ推進していただきたいなと思います。大変なこといっぱいあると思いますけども、よろしく願いいたします。

他、何かございますでしょうか。

—意見等なし—

はい。じゃあ、次に進めたいと思います。

「中央図書館の自動出納書庫」について事務局より説明をお願いします。

【大野主幹】

資料の4をご覧ください。図書館は、知識、情報の拠点として図書、資料及び図書館サービスの充実を図ることが望まれているため、中央図書館の2階のスペースを自動出納書庫として整備することで、大量の図書、資料を効率的に保管するとともに、出納における利用者サービスの迅速化と作業の省力化を図ることが可能となります。

また、併せて地域図書館の余剰図書を移管することにより、各館の収蔵スペースの狭隘から解消されるものと考えております。現在、中央図書館には約20万冊の蔵書があり、上限が25万冊であることから、自動出納書庫を整備することにより、中央図書館は当初の計画通り約46万冊の図書収容能力を満たすこととなります。

また、平成27年度の開館時に未整備となった理由といたしましては、平成25年度に建設工事の入札が不調となり、再度発注内容を見直した中で、自動出納書庫を先送りすることとなりました。工事費といたしましては1億9,910万円、工期といたしましては令和5年10月1日から令和7年1月31日まで、令和7年2月からの稼働開始を予定し

ております。

説明は以上となります。

【片寄委員長】

ありがとうございました。今の続きとしまして、皆様からご意見ございますでしょうか。

—意見等なし—

ありがとうございました。

では、続きまして「市民体育館の利用休止」について事務局より説明をお願いします。

【内海副主幹】

市民体育館の利用休止につきまして、報告いたします。

資料5「市民体育館の利用休止について」をご覧ください。

市民体育館は、現在、建築基準法上の既存不適格の状態である、主体育室の特定天井の撤去を主な目的とし、併せてエレベーターや空調機器更新等の老朽化対応及びアスベスト撤去を行うため、令和6年7月から令和8年3月を工期として、改修工事を実施いたします。

この工事に伴い、令和6年7月から11月までは主体育室が、令和6年12月から令和8年3月までは全館の利用が休止となります。

これらの周知につきましては、八千代市スポーツ協会への説明を行うとともに、市民体育館内への案内文の掲示や市ホームページへの掲載を行っている他、1月1日号の広報やちよに掲載しております。

なお、この利用休止に伴う代替施設といたしまして、市民体育大会等、市主催事業につきましては、セントラルスポーツ生涯学習プラザでの実施を予定しております。

説明は以上となります。

【片寄委員長】

ありがとうございました。今の説明につきまして、皆様からご意見、ご質問はありますか。

—意見等なし—

ありがとうございます。

続きまして、資料6になりますけども、「東栄寺の伝薬師如来立像」について事務局より説明をお願いします。

【宮澤主幹】

東栄寺の伝薬師如来立像（阿弥陀如来立像）についてご報告させていただきます。

資料6をご覧ください。

保品の東栄寺で所有しております伝薬師如来立像（阿弥陀如来立像）につきましては、令和元年度より令和4年度まで文化財としての価値について調査を実施してまいりました。

調査結果がまとまったことを受けて、令和5年度に令和5年5月1日付けで教育委員会から八千代市文化財審議会に対し、当該文化財の市指定について諮問を行い、令和5年7月19日付けで同審議会より市文化財としてふさわしいという旨の答申をいただきました。

当該仏像は寺の言い伝えでは、薬師如来像として伝わっておりますが、通常薬師如来像が手に持っている薬の壺を持っておりません。その手の形は親指と人差し指をくっつけており、来迎印と言われる阿弥陀如来を示す印を結んでおります。このような理由から、指定

の名称は伝薬師如来立像(阿弥陀如来立像)という風になっております。

像の伝来について記された文書はありませんが、本仏像の表現方法等から14世紀後半から15世紀前半頃に遡るものと推定され、市内では県指定文化財である村上正覚院の清涼寺式釈迦如来立像に次いで古いものとなり、八千代市において非常に歴史的な価値が高いものとなっております。今回八千代市としては5年ぶりの指定となり、28件目の市指定文化財となります。

以上でございます。

【片寄委員長】

ありがとうございました。この点について、皆様からご意見、ご質問いかがでしょうか。

—意見等なし—

他に報告事項がございましたら、事務局からお願いします。

【齋田課長】

はい。

【片寄委員長】

お願いします。

【齋田課長】

市民ギャラリー及び中央図書館の臨時休館について説明いたします。資料はございません。市民ギャラリー・中央図書館におきまして、令和6年1月24日水曜日、先週の水曜日になりますけども、午前3時半頃、施設の停電が発生しました、施設電気設備保守点検業者及び東京電力により、原因究明に時間を要してしまいましたが、送電線から施設に電力を供給するために必要な高圧ケーブルの不具合が原因であると判明いたしました。現在、中央図書館に設置している図書館システムにつきましても、この高圧ケーブル不具合による電力が供給されないことから、現在システムの貸し出し等ができておりません。図書館利用者の皆様にご迷惑をおかけいたしまして、誠に申し訳ございません。現在、原因が判明したことから、電気設備工事の会社等と早急な対応策を検討しているところでございます。

今後、復旧等の見通しが立ちましたら、随時、市ホームページ等により周知させていただきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。以上でございます。

【片寄委員長】

ありがとうございました。また何かご意見ございましたらお願いします。

【吉住委員】

たった今、私が中央図書館についても、揚げ足を取るような言い方で、ご質問しようかと思った矢先でしたので、ただ一度も、先週の水曜日の周知というのは、私理解してなくて、大和田に行きまして、できればこの際というのは、手書きなんかの対応なんかにも、どうなのでしょうかとということを職員さんに言ったのですけども、彼女らはその辺については無言のまま終わってしまったのですけども、ただ、休止、休止ということであると、自動出納書庫についてのすごく輝かしいこうタイトルについては、ちょっと粗末なのかなと思ひまして、今課長が説明する前に質問をしたかったということでした。以上です。

【片寄委員長】

ありがとうございます。

【齋田課長】

実際、手処理で対応しているのは、24日の日は1日手処理で対応させていただきました。ただそうなりますと、借りている人のカード番号と借りている本を全て手書きで書きます。それは、2・3日、1週間溜まりますと、サーバーが元通りになった時に、全て手で入力して復帰するものですから、その辺も含めまして、手の貸し出しもよろしいのですが、復帰後に手打ちで全て入力してから、それを精査してからじゃないとサーバーが本稼働できませんので、その辺の兼ね合いも含めて、私どもも1週間ぐらい考えたのですが、協議いたしまして、1日だけということにさせていただきました。

また、今回の本館に電気がいかないということで、サーバーが使えないということは、実際その今までバックアップ等についても、検討が弱かった部分もありますので、中央図書館が停電しても、図書館、他の館に影響が出ないようなシステムづくりについて、今後検討してまいりたいと思います。申し訳ございませんでした。

【片寄委員長】

ありがとうございました。ご不便おかけしてはいますが、その原因がわかって対応することですので、よろしく願います。

他に連絡事項はございますでしょうか。

ー連絡事項等なしー

それでは、ないようですので、以上をもちまして、令和5年度八千代市社会教育委員会議を終了させていただきます。長時間にわたりご審議いただきまして、またご協力いただきまして感謝申し上げます。ありがとうございました。